

全国市町村国際文化研修所(JIAM)

令和7年度 追加研修のご案内

JIAMでは、自治体にとって緊急性の高い4つのテーマについて、2日間のコンパクトなカリキュラムにまとめ、令和7年度研修に追加して実施いたします。
市町村職員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

大規模災害に備えた応援職員研修

令和8年1月13日(火)～14日(水) 2日間 予定人数50人

応急対策職員派遣制度における総括支援チームを構成する自治体職員の災害マネジメント総括支援員(GADM)及び災害マネジメント支援員を対象とします。

いつ起きるか分からない大規模災害時に効果的な支援を行うためには、平時から総括支援チームの活動に必要な応急対策職員派遣制度に関する最新の知識を学ぶとともに、関係者の「顔の見える関係の構築」が重要です。

この研修では、総括支援チームを構成する職員(GADM等)に対して、応急対策職員派遣制度に関する最新の知識を提供し、演習を通じて今後、総括支援チームに求められる役割について考えます。

自治体における生成AI～これからの導入と活用に向けて～

令和8年2月9日(月)～10日(火) 2日間 予定人数50人

生成AIの導入・活用を検討している自治体職員を対象とします。

住民ニーズや課題が多様化・複雑化している中、自治体の職員数は減少傾向にあり、限られた人員で業務を効率的に遂行することが求められています。

この研修では、自治体職員が生成AIを効果的に活用し、業務の効率化や市民サービスの向上を図ることを目的とします。

自治体におけるカスタマーハラスメント対策

令和8年2月9日(月)～10日(火) 2日間 予定人数50人

ハラスメント対策に従事する自治体職員及び窓口業務に携わる係長級以上の自治体職員を対象とします。

行政サービス利用者からの「常識の範囲を超えた理不尽な要求や言動」によって就業環境が害される行為、いわゆるカスタマーハラスメント(以下、「カスハラ」という。)は、円滑な業務遂行の妨げになるだけでなく、職員の人格や尊厳を傷つけ心身の悪化を招く可能性もあり、カスハラへの対策は急務となっています。

この研修では、カスハラ対策について、講義や自治体等の取組事例も参考に具体的手法について学びます。

対話による自治体経営～これからの事業のビルド&スクラップ～

令和8年2月12日(木)～13日(金) 2日間 予定人数50人

予算要求経験のある自治体職員を対象とします。

自治体職員が限られた財源と人材の中で、住民・社会ニーズに応えるためには、必要な事業の優先順位付けや廃止・代替案の手法が必要となります。

この研修では、新たな事業を始めるために既存事業を見直す「ビルド&スクラップ」の考え方を学び、持続可能な行政運営と効果的な事業展開、より円滑な意思決定プロセスの実現を目指します。

※研修の募集は、令和7年10月以降に開始します。

お申し込みはJIAMホームページ(<https://www.jiam.jp/workshop/>)をご確認ください。

JAPAN INTERCULTURAL ACADEMY OF MUNICIPALITIES



公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所

【お問い合わせ】全国市町村国際文化研修所(JIAM)

教務部 TEL:077-578-5932

ホームページ <https://www.jiam.jp/>